

カミノトピックス



生まれ変わります！！

今回、ご紹介するのは恵庭市内で木材店を経営しております『株式会社 シンモク』様です。代表取締役津田様に設立当時からの話を伺いました。場所は恵庭バイパス通り(恵庭市北柏木町)沿いにあります。特に販売用として『枕木』が事務所の正面に沢山積重ねているのが目印になっていると思います。会社設立は平成3年1月で、社名「シンモク」の由来はとお尋ねしたところ、新(シン)・木(モク)と新しい木をイメージとして社名を決めたとの事です。

取扱商品も木材関連商品から一般住宅資材まで幅広く営業展開をしており、最近では3月1日に長沼営業所を開設したところです。



津田社長

取扱商品に『枕木』があるのですが、『枕木』と一言に想像すると一般的には鉄道線路のレールを支えている枕木と発想するのですが、津田社長に取扱いするきっかけを伺ったところ、今から15年前にある雑誌を見て興味を持ち始め2年後にはブームとなり今ではガーデニング工事に利用したり、最近ではキャンプ場、ペンションの敷地にと用途は広がっているようです。もちろん「札幌ドーム」の通路床にも敷設しています！！

商品の仕入ルート先は、廃線となった線路の処理業社より大量購入しています。特に輸入材として有名な「枕木」は南洋材で樹種名：ケンパス(kempas)を用いていて、産地も東南アジア及びオーストラリア産が多いようです。

枕木の在庫は約6,000本(L2100×200×140原寸サイズ)を常備し、主にガーデニング利用として年間約1万本が販売されています。この数字は道内だけみても小売業ではNo.1の実績となっています。

枕木の再利用を目的に販売していますが、お客様のニーズが変わってきており、特にアンティーク調のイメージがあり、更に木材としては耐久性がありますのでお客様も大変喜んで購入して頂いております。

尚、お近くに出向いた際にはお立ち寄り頂ければ、『枕木』販売のプロとしての確かなアドバイスが聞けるとお思いますので、お気軽にご相談下さい。

私も『枕木』についての商品知識は多少身に付きましたね(笑)

この度は大変ありがとうございました。

(談：奥山)



本社事務所



次の役目待つつ枕木たち。
他にもいろいろな木材がありました。



日本人はお米です。

今回、ご紹介するのは、『ちとせライスセンター 株式会社吉田商店』様です。明治初期より創業されており、100年以上もの長い歴史がありますが、法人としては昭和28年8月に設立され、

創業当初においては米・酒・雑貨や万屋などの各種食料品の小売を主に行っておりました。

現在は、新富3丁目にライスセンターを開設し、炊飯したお米の販売を主におこなっております。

通常のライスやお寿司用の酢飯などのほかに、出来上がったおにぎりといったものを商品としてお届けしております。販売先は、千歳市内を中心として、ホテルや新千歳空港内のお弁当を主とした飲食店、さらには航空各社の機内食へと幅広いお客様への販売がされております。

みなさんがホテルで宴会をされた時のメニューや、空港内での飲食や飛行機に乗った際に出されたライスは、もしかすると吉田商店様から届けられたものかもしれません。

(談：R&R・高島)



みなさん、はじめまして。

入社して1年5ヶ月がたち、今回はじめてカミトピを担当することになりました経理担当の高田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

この仕事で、いちばん驚いたことはなんといっても月末締め請求書の量の多さでした。すべての請求書を積み重ねると厚さが20センチ位になるのではないのでしょうか。その量の処理を3日でしなくてはいけないということで「何時になったら帰れるのだろう」と非常に不安になったことを覚えています。それだけの量の請求書があるということは、月末の振込の件数も非常に多いことになります。はじめてその入金処理をしたときは帰社できたのが夜の10時過ぎだったことを今でも覚えています。さすがに今では、そんなに時間はかからなくなりましたが、しかし、請求書が厚い、入金件数が多いということは、お客様にご愛顧いただいているからだ感謝しております。



以前、お客様から「この請求書はコピーなんじゃないか？」と指摘されたことがありました。当社の請求書は、印影も含めパソコンによるプリンター出力されるので、どうしても黒い陰影となってしまいう結果そう思われても仕方がないのですが決してコピーではなく原本を送らせていただいております。それでも不都合なことがございましたら柔軟に対応させていただきますので気軽に声をかけてください。

さて、仕事の話はこれくらいにして・・・

みなさんは普段、運動をしていますか？私は、会社と家の往復だけではストレスがたまってしまうので10年位前からバレーボールをしています。遊びでやっていた程度でしたが去年の11月から本格的にチームに入り、週3回練習に励んでいます。毎月1回、札幌で試合があるので練習の成果が実感できて楽しいです。夏はビーチバレーも復活させたいと考えており体力づくりにも励まないとはいけません。そして、さらにゴルフも始める予定なのです



が、とても難しそうですね。次回のカミトピの担当になったときに、どれだけ上手になったか報告ができればいいなあとは思っておりますが・・・。そんなわけで仕事もプライベートも頑張っていこうと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。(談：JR・高田)

新しい勉強の仕方です。

3月6日(土)に「eカレッジ」の修了式がありました。

「eカレッジ」とは、千歳科学技術大学がインターネットを通じたパソコンによる「eラーニングシステム」の開発・推進をしており、道内高校の数校でも採用されていますが、千歳市内の小中学生にもこのシステムを利用し家庭での自学自習教材として活用していただこうと千歳市教育委員会と連携して作られました。

春先に各学校より申込があり、受講申込者には、IDとパスワードが発行されます。後は、インターネットの環境があれば、いつでもどこでも、好きな時間に好きな科目を自分のペースで学習することができ、何度も同じ科目を学習することもできます。また、学習成績表や励ましやイベントの案内メールも送られてきます。

小・中学のコンテンツ(教材)は、千歳市内の小・中学校の先生と大学が協力して作り、より学校の授業に近いものとなっています。平成21年度の「eカレッジ」の受講生は150名ほどで、修了式にはそのうち優秀者30名が表彰されました。

受講生のみなさんの学習の仕方もまちまちで、短期集中型、決まった曜日に決まった時間になど、それぞれが工夫して学習していたようです。

国のICT教育が推進され、パソコンやインターネット環境が必須になりつつありますが、この「eカレッジ」では、「私たちは、どちらかと言うとアナログ人間ですよ。」と言いつつもコンテンツ(教材)作りに知恵と経験を盛り込んだ先生、それをデジタルの世界で作りあげた大学(大学生)の協力で作られた新しいスタイルの勉強法です。

当社も年2回、eラーニングを使って受けるメーカーの資格試験があります。eラーニングは、学校教育ばかりでなく、インターネットを使っての勉強法として確立しつつあります。

新年度になると、また「eカレッジ」の受講募集があります。

小中学生をお持ちの親御さん、お子さんにチャレンジさせてみてはいかがでしょうか。



優秀者には、修了書と記念品が贈呈されました。

